

一次水圧試験を空圧試験に変更（水圧試験の簡略化）

写真・イメージ	概要（効果・特徴・メリット等）														
<p>【測定装置】</p>  	概要	住宅等における給水配管、給湯配管、温水床暖房配管等の樹脂配管の水圧試験を空圧による漏洩検査に替え、検査時間の短縮とコスト削減を図る。													
	工程	設計	躯体施工	内装施工	外構施工										
	効果	<p>■検査準備が5～10分、検査時間が5～10分と従来の水圧試験に比べて作業時間の短縮が図れ、労務の削減も図れる。</p> <p>■内装工事による釘の打ち抜き等による、微小漏れについても感知可能。</p> <table border="1" data-bbox="947 710 1583 826"> <tr> <td>Q</td> <td>C</td> <td>D</td> <td>S</td> <td>E</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>△</td> <td>◎</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table>				Q	C	D	S	E	○	△	◎	○	○
	Q	C	D	S	E										
○	△	◎	○	○											
備考 注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 検査終了後の管内圧力を抜く際、一度バルブを閉めメクラキャップを外し、徐々にバルブを開き圧力を抜く。 加圧に使用する空気は、配管施工されている部屋の環境温度と同じ状態の空気を利用する。 漏洩試験を行う配管長は100m以内で、内容量15L以内の範囲であること。 温水床暖房配管は内容量15L以内の範囲であること。 配管種類による検査圧力は、メーカーの説明書による。 														
適用範囲 仕様															
用途	集合住宅 等														